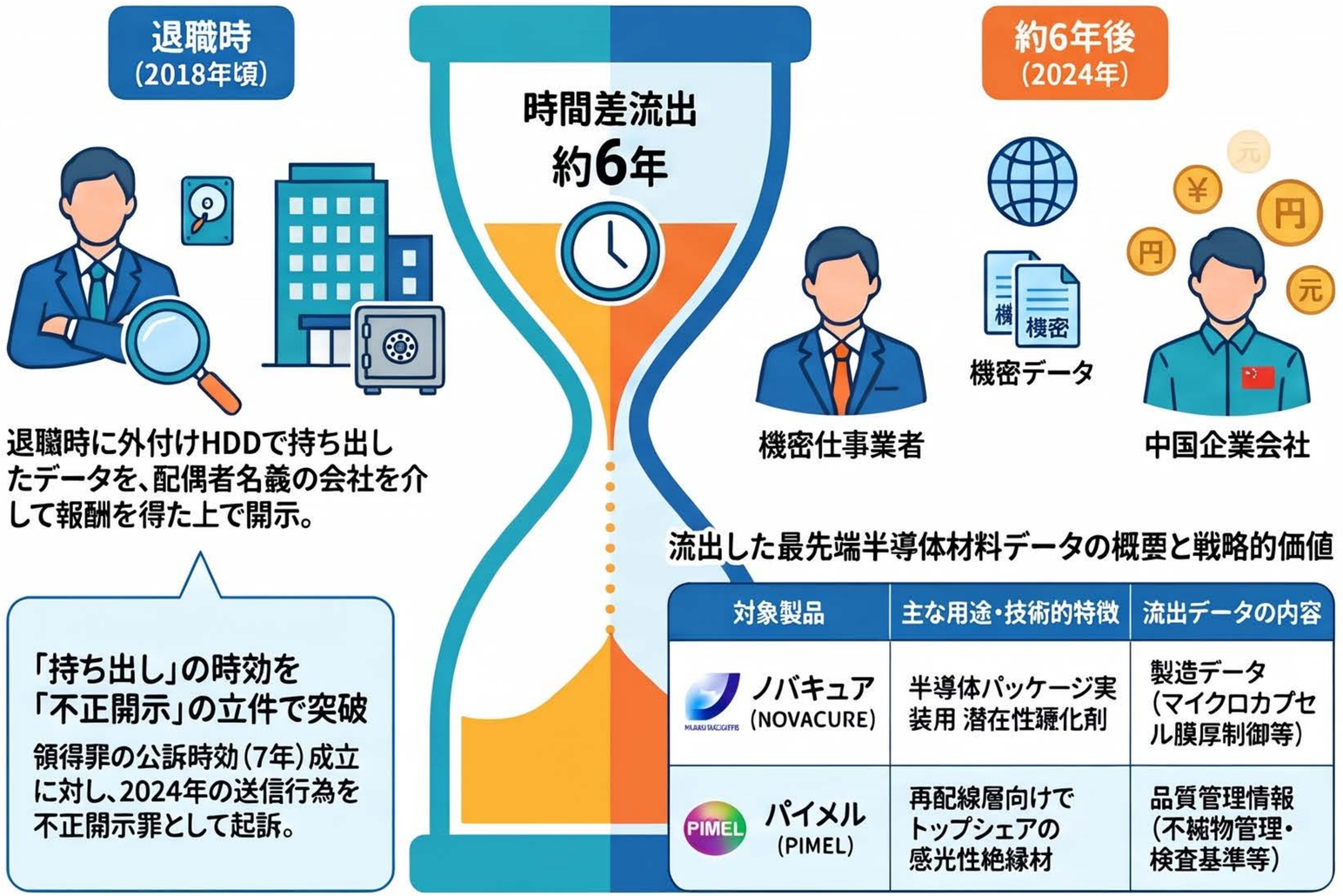
旭化成・営業秘密漏えい事件にみる「時間差流出」の盲点と企業防衛策

退職から約6年を経て発覚した営業秘密漏えい事件の構造と法的論点を整理し、企業が直面するシニア技術者の情報流出リスクと取るべき防衛策を提示する。

事件の構造と「時間差流出」の盲点



退職時に外付けHDDで持ち出したデータを、配偶者名義の会社を介して報酬を得た上で開示。

「持ち出し」の時効を「不正開示」の立件で突破

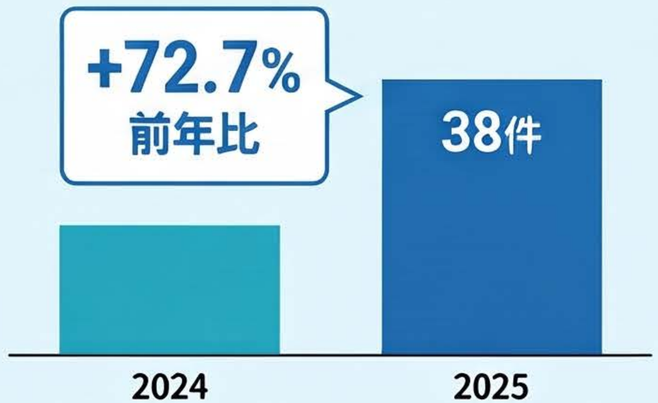
領得罪の公訴時効（7年）成立に対し、2024年の送信行為を不正開示罪として起訴。

流出した最先端半導体材料データの概要と戦略的価値

対象製品	主な用途・技術的特徴	流出データの内容
ノバキュア (NOVACURE)	半導体パッケージ実装用 潜在性硬化剤	製造データ（マイクロカプセル膜厚制御等）
パイメル (PIMEL)	再配線層向けでトップシェアの感光性絶縁材	品質管理情報（不純物管理・検査基準等）

企業の将来影響と講ずべき防衛策

2025年の営業秘密侵害検挙数（件）



転職や独立に伴う情報持ち出し事案が急増しており、対策強化が急務。

貸与媒体の現物照合と「超長期ログ保全」の義務化



退職時のIT資産現物管理の徹底



数年後の発覚に耐えうるアクセスログの長期保存

Gemini Notebook